



～季節の花便り～

花の女王・茨城県の花

色鮮やかで、香りも強い…秋の“**バラ**”見頃です！



平成 20 年 10 月 16 日撮影

謹啓 秋冷の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

現在、爽やかな秋風がそよぐひたち海浜公園の「ローズガーデン」にて、茨城県の花「バラ」が見頃を迎えておりますのでご案内いたします。

秋のバラは、初夏に比べて花色が濃く鮮やかな上、香りが強いのが特徴です。バラの愛好家から「県内では指折りの名所」と評価の高い本公園のローズガーデンでは、見頃を迎えた 122 品種 4,000 株の秋バラが上品で芳しい香りを放っており、初夏とはまた違った“花の女王”らしい気品ある花姿とその魅力を、存分にお楽しみいただくことができます。

なお、見頃は 11 月上旬頃までを見込んでいます。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。

謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 6 0 5 - 4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

現在見頃！

～11月上旬まで

バラ

バラ科バラ属落葉低木

原産地：北半球の亜熱帯から熱帯

【バラ豆知識】

茨城県の県名は、県成立時に県庁所在地が置かれた場所（水戸）の郡名が茨城郡であったことに由来しています。そもそもの「茨城」が、「常陸國風土記」の茨城郡条に記述されたイバラの故事に由来していることから、茨城県の県花は「バラ」と定められました。

現在、園芸品種は3万種以上あると言われていたのですが、その元となったのは約120種ある野生種のわずか8種類とされています。品種改良の積み重ねによって、現在のさまざまなバラを楽しめるようになりました。



【ひたち海浜公園のローズガーデン】

ローズガーデンは平成3年10月の本公園のオープンとともに、数多くのお客様にお楽しみいただいています。

ガーデン内には122品種4,000株(2,700㎡)のバラが植えられ、海からの強い風からバラを守るため、周囲はウバメガシの高垣で囲われています。また、ガーデン全体はアーチや噴水のある西洋庭園風となっています。

毎年、初夏（例年6月頃開花）と秋（例年10月頃開花）の2シーズン楽しむことができます。



【秋バラの特徴】

秋のバラは、初夏よりも花は小ぶりですが、色が鮮やかで香りが強いのが特徴です。本公園のローズガーデンでは10月上旬から咲き初め、11月上旬頃までお楽しみいただけます。



平成20年10月12日撮影

■コラム「どうして秋バラは美しいの？」

バラの花が咲く時の理想的な温度は18～22℃とされ、同じ木が春と秋の2回花を咲かせることができます。

春は急激に気温が上がるため、花の成長が著しいですが、十分な栄養を蓄えられないまま、開花する傾向にあります。

それに比べて秋は、徐々に気温が下がり、花が咲くまでに十分な時間があることから、しっかりと養分を蓄えてから開花することができるため、春に比べて色が美しく、香りも強くなると言われています。



平成20年10月12日撮影

トピックス

その1 ひたち海浜公園おすすめのバラ

★青系の可憐なバラ

「ブルー・バニー」

通称“青バラ”の1品種。バラは青系の色を出すことが難しいため、珍しいとお客様に大人気です。ブルー・バニーは、青系品種の中でも特に青みが強いのが特徴で、淡い香りとともに幻想的な雰囲気醸し出します。



★高貴な王妃

「ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ」

故ダイアナ元英国皇太子妃の温かい人柄、気品あふれる美貌が見事に表現された美しいバラ。淡い黄色の花びらのふちはピンクに色づき、その様は見る人をうっとりさせます。初夏よりも秋の方が大輪となります。



★花色が変化するバラ

「緑光」

開花につれて花色が白から淡い緑色に変わるバラです。花もち・花つきとも優れた品種で、枝が太くがっちりとした株になります。花は最後まで開ききることがないため、美しい形を長くお楽しみいただけます。



その2 植物管理スタッフが語る「ひたち海浜公園のバラ管理」

開園当初（平成3年）：約2,000㎡、80品種、約3,000株

現在（平成20年）：約2,700㎡、122品種、約4,000株

開園当初のバラの殆どは、昭和60年（1985年）につくばで開催された「科学技術博覧会」の会場に植えられていたものを譲り受けたものです。

本公園では、バラの株の勢いが弱まることのないように、計画的に管理を行っています。

バラは大変デリケートな植物で、虫がつきやすく、病気にかかりやすい性質があります。そのため、春から秋にかけて病虫害を予防する薬剤散布を行い、十分な肥料を施します。

また、勢いのある枝だけを残して養分が行き渡るように、そして、綺麗で元気な花を咲かせるために、夏と冬の2回剪定を行っています。立派で充実した花にするためには、多くつき過ぎた蕾を適度な数に減らす「摘蕾（てきらい）」という作業も行います。

その他にも、見頃を過ぎた花を早く摘み取る「花がら摘み」や除草など、手間のかかる植物ですが、綺麗な花を咲かせてくれた時には、毎回そんな手間や苦勞も吹き飛ばしてしまうくらい感動します。

今年は特に、秋バラの花つきが良好です。丹精込めて管理をしているひたち海浜公園のローズガーデンへ、ぜひ足をお運びください！



花がら摘み作業風景

ひたち公園管理センター
管理係 加藤岳二



平成 20 年 10 月 16 日撮影